

おおこうち内科クリニック

〒495-0015 稲沢市祖父江町桜方上切6-7
TEL 0587-97-8300
<http://www.okochi-cl.com/>

ヘルパンギナ



<ヘルパンギナとは？>

乳幼児のあいだで流行する夏かぜの一種です。コクサッキーA 群 1-10,16,22 型、B 群 1-5 型、エコーウイルス 6,9,11,16,17,22,25 型により起こります。ほかの季節に流行することもあります。38-40℃の高熱が2-3 日間続きます。のどの奥に小さな水ぶくれができて痛いので、食べられなくなります。ひどいときは水分も飲めなくなり、脱水症になることがあります。ごくまれに髄膜炎を起こすことがあります。



ヘルパンギナの原因ウイルスは複数あるので、1 回かかったからもうならないというわけではありません。



<治療>

直接治療する薬はありません。熱やのどの痛みが強い場合には、解熱剤などを処方します。



<家庭で気をつけること>

- (1)食べ物: 口の中が痛いときは、かまずに飲み込めるものを与えます。プリン、ゼリー、アイスクリーム、さましたおじや、とうふ、グラタンなどがよいでしょう。
- (2)水分: 十分に水分をとるようにしましょう。オレンジジュースなどすっぱいものはしみます。牛乳や麦茶、みそ汁、ポタージュスープなどがよいでしょう。
- (3)入浴: 高い熱があるときや元気がないとき以外は、お風呂に入ってかまいません。



<こんな時は早めに再来してください>

- (1)口の痛みが強くて水分をあまり飲まないとき→点滴をします。
- (2)高い熱が3日以上続くとき。
- (3)元気がなくてぐったりしているとき。



<保育所・学校>

熱が下がって元気になれば、登園・登校して下さい。